

事業の概要

1 豊かな暮らしの実現と地域活性化に向けた広域交通ネットワークの形成と個性あるまちづくりの推進

● みちづくり

1 高規格道路の整備（新広域道路交通計画）

問合せ先 道路建設課

県内外の主要都市間の移動時間短縮による地域間の連携強化や交流促進を図るため、高規格道路の整備を進め、「観光の振興」、「産業の効率化」、「医療の充実」など多方面にわたり支援します。

○遅れている高規格道路の整備

高規格道路の供用率は、令和6年度末時点で62%と低い水準となっています。

○高速等ICから30分以上を要する半島部

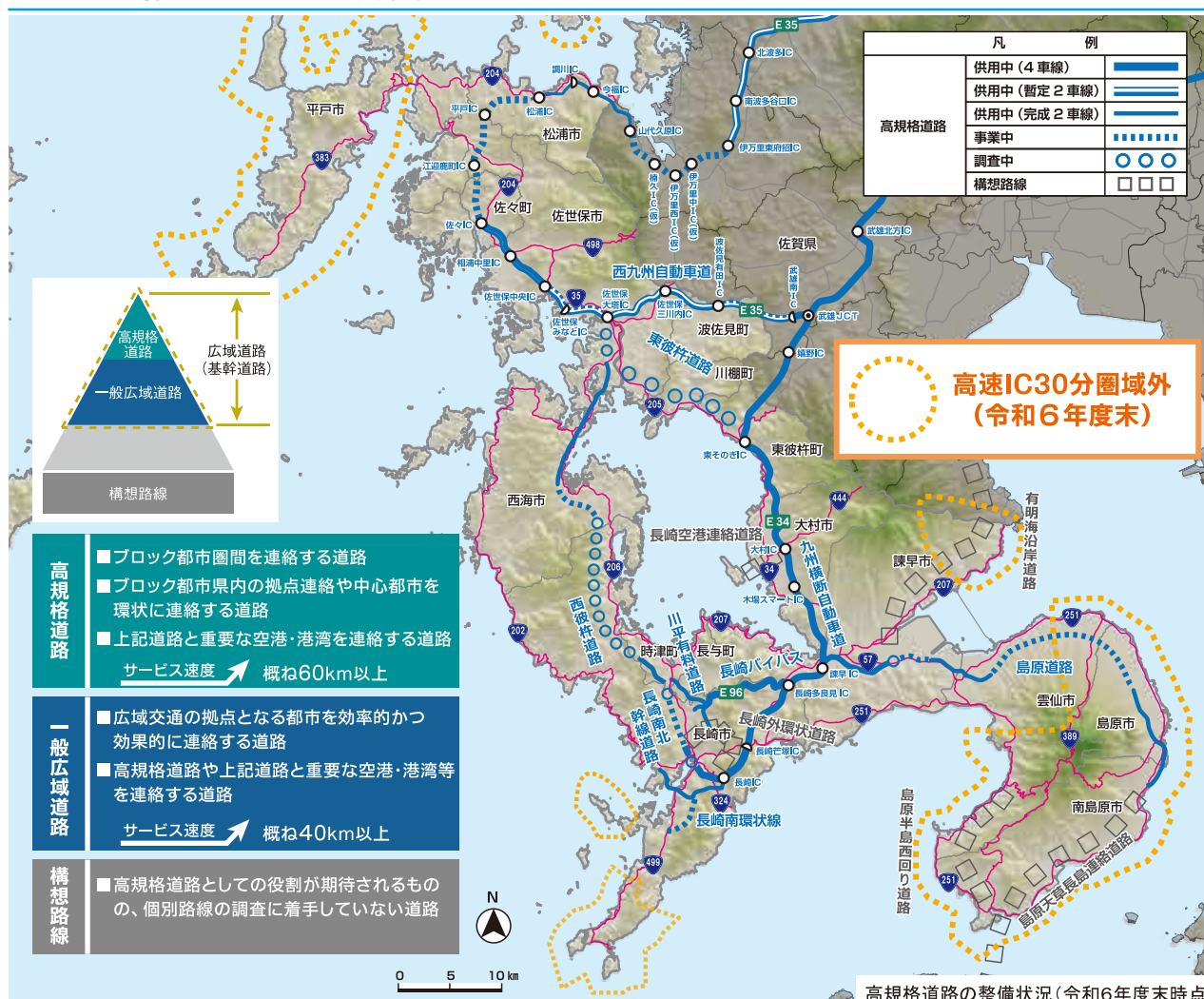
県人口の2割、面積の3割を占める半島部は、高規格道路の整備の遅れにより、高速交通ネットワークから取り残されている地域が多く、企業立地や物産流通の効率化が進まず、地域活力が低迷しています。

表 高規格道路の供用率

●高規格道路の供用率(R7.3末)

	長崎県合計	九州横断自動車道	西九州自動車道	西彼杵道路	長崎南北幹線道路	島原道路	長崎南環状線	東彼杵道路	長崎南環状線(新戸町～江川町工区)	長崎バイパス	川平有料道路
計画延長(km)	265	46	60	46	15	50	8	15	5	15	5
供用延長(km)	165	46	41	18	7	25	8	0	0	15	5
供用率(%)	62	100	68	39	47	50	100	0	0	100	100

広域道路ネットワーク計画



高規格道路の整備により、次のような効果が期待されます。

- 1 中心都市が日帰り圏で連絡され、レジャーなどの広域な行動の選択肢が増えることで、生活の質の向上とともに、長崎県内における周遊観光の増加が期待される。
- 2 県土の2極を構成する長崎市と佐世保市が半日行動圏となり、両市の交流促進による産業・経済の発展など地域の活性化の原動力となることが期待される。
- 3 九州の中心都市である福岡市が日帰り圏で連絡されることで、運送業の効率化、事務所・工場等の長崎進出、観光客の増加が期待される。
- 4 高規格道路と短時間で連絡されることで、新たな工場等の進出を促すとともに観光客増加につながる。
- 5 空港や新幹線駅と短時間で連絡されることで、空港から遠い半島地域の観光客増加が期待される。
- 6 通勤・通学や買い物などの日常行動の時間的余裕が増えることで、生活の質の向上が期待される。
- 7 救急医療施設への移動時間短縮により救命率の向上が期待されるとともに、走行性の向上により患者への負担が軽減する。

西九州自動車道（高規格道路）

